



IN SHIKOKU District 336-A of Lions Clubs International Association.



阿波淨瑠璃人形(徳島県)



国旗を掲揚しましよう

ライオンズ親子の「日の丸」談義



イチロー 「お父さん、お早ようございます」

父 「よう！お早よう。今日は珍らしく早起きだな、何かいいことでもあるのかい？」

イチロー 「今日は11月23日、勤労感謝の日だよ。先日お父さんが日の丸の旗を買って来たとき、お母さんにこれから国民の祝日にはわが家は国旗をあげようと言つたでしょ。それで今日はお父さんとお母さんに感謝するだから少し早起きして自分であげてみたかったのさ。やっぱり気持ちがいいなあ」

父 「ほう！それはありがとう。イチローもお父さんの気持ちがわかるようになったとは頼もしいな」

イチロー 「だけどチョット恥ずかしい気もするなあ。だって近所のおうちはどこもあげてないんだから…」

父 「そう言えば町内でも一軒か二軒しか国旗を出している家はないようだね。でもこれはあくまで自主的なものだから、強制するわけにはいかないんだよ」

イチロー 「それはどうして…何かわけがあるの？」

父 「うん。国旗に対する思いは人によつて違うんだ。戦争で悲惨な目に遭つた日本人の暗いイメージの中に納得できない感情を持つ人もいたがもう60年以上も前のこと。政治も経済も国際化している時代に、国旗は自分の歴史、文化、民族の誇りを象徴するシンボルとしてお互いに尊重し、認め合うことが一番大事なことで、どこの国民も国旗に特別な愛着を持っている。その心がない国は軽蔑され、信頼されないんだよ」

イチロー 「僕も学校で先生に国旗は国を代表する印だから、大切に扱い、外国の国旗も同様に尊重することが國際的儀礼だと教わったよ」

父 「その通り。どこの国でも広場や公園など、人が多く集まる所には必ずその国の旗が翻つている。それが國

の意識を高め、国の権威を世界に示すことにもなるんあまり見かけないなあ」

父 「お父さんも時々外国へ行くことがあるが、例えばエディンバラ城の塔の尖端にはユニオンジャックがありの凱旋門には三色旗が、最も印象深かつたのは自由の女神像のあるリバティ島の広場で見た独立記念日を祝う国旗掲揚式で、畳30帖もあるかと思う星条旗が

パリの凱旋門には三色旗が、最も印象深かつたのは自由の女神像のあるリバティ島の広場で見た独立記念日を祝う国旗掲揚式で、畳30帖もあるかと思う星条旗が揚げるのを、大勢のアメリカ人が真剣な表情で胸に手を添えて、尊敬と誇りの眼差しで見上げている姿にアメリカの底力を見る想いがしたよ」

イチロー 「僕等も日本人である誇りと、国を愛する心を持つことが絶対必要だね」

父 「そりだよ。だからライオンズクラブが推進役になつて国旗掲揚キャンペーンを始めたんだ」

イチロー 「お父さん達の活動で、町中の家やビルの屋上に日の丸の旗が見られるようになればいいなあ」

父 「この活動は上から押し付けるものではなく、身近な人達から盛り上つて、世間の人々に広がるのが理想的なんだ」

イチロー 「僕も友達にその説を話して、協力をお願いしてみるよ」

父 「ありがとうございます。お父さんも頑張るよ」

●この活動はガバナーズアワードの対象です。

主 管／336-A地区キャビネット事務局
●PR・ライオンズ情報・大会参加委員会
提案委員会／●青少年・LCIF・地域情報委員会
●YCE・国際関係委員会

地区ガバナー公式訪問を終えて

地区ガバナー
松前 龍宗

变革には柔軟思考と、前向き志向と行動力が必要。

2013～2014年度のガバナー公式訪問は、多くのライオンズ会員各位と一同に会する方法をお願い致しました。リジョンのZC皆様が響動下さり、見事に延べ2000人以上のライオンが加わって公式訪問を終えることが出来ました。ZC始め各クラブ役員の皆様、会員各位のご理解と、ご協力の賜物と感謝申し上げます。

後5年でライオンズ結成100周年を迎える本年、パーマー国際会長は「夢を追いかけよう」とテーマを掲げられ、ガバナーとして私は、各クラブの5カ年ドリームプランによる行動実践を提唱申し上げました。

日本ライオンズも60年を経過し、歴史や伝統を尊重しながらも、改革推進をする必要を求められています。日本人一人目の山田国際第一副会长の家族会員増員推進の問題提起はライオンの個人奉仕活動方式(し)から家族ファミリー奉仕活動(F)への変革推進を指導されています。

変革には柔軟思考と、前向き志向と、行動力が必要です。ガバナースローガン「ときめく 明日へ We Serve」ときめく例会、ワクワク、ドキドキ奉仕活動、ウキウキする入会式を楽しみましょう。会員各位の「真価発揮」をお願いしました。公式訪問を終えて、益々336-A地区会員皆様が地元市民から奉仕者として、信頼されていく事を充分に理解することができます、日頃の活動に感謝致します。

「ライオンズフォーラムin高松」9月15日開催迄の公式訪問で、過密なスケジュールを計画し、懇親交流会も控えました。RC職廃止の中、いずれのゾーンもよく準備を整えて頂き、大歓迎でお迎え頂きました。ありがとうございました。慌ただしい訪問でしたが、熱心にお聞き頂いた皆様に心より感謝申し上げます。

ライオンズクラブは「We Serve」の志を同じくする者の集団です。すべての会員の皆様に、感謝を申し上げ「楽しく、明るく、元気に」ご活躍されますことを祈念申し上げお礼と致します。

Contents

- 表紙 阿波人形淨瑠璃（お染）
- 1～2 ガバナー公式訪問
- 3～11 1R～9Rガバナー公式訪問ZC報告
- 12 わしが国さで見せたいものは（徳島県）
- 13～14 特別寄稿元ガバナー隨想
- 15～20 YCEサマーキャンプなど
- 21～26 ライオンズクエスト活動報告
- 27～30 ライオンズフォーラムin高松
- 31～32 クラブ会報誌より、幹事心得帖
- 33 336-A地区会員現況
- 34 物故会員、編集後記
- 裏表紙 国旗について

336-A地区149クラブの皆様ありがとうございました。





記録的な猛暑の中、松前龍宗地区ガバナー並びに地区役員をお迎えして八月三日(土)ホテル奥道後において午後一時半より開催致しました。

会場の選定、設営、そして当日の進行を3ZCの友澤節男しに、出席者の紹介その他を2ZCの黒田和夫しに担当して頂きました。

例年は、各クラブの出席者は会長、副会長、幹事、会計、会員理事と五名位だと思いますが、ガバナーからできるだけ大勢のメンバーと会いたいとの要望があり、一般会員を含め七名となりました。1Rは19クラブで構成されているので、一クラブ当たりの平均だと十三名強と云う事になりました。定刻になり国旗を先頭にガバナーと地區役員が堂々と入場し、公式訪問が開始されました。

式次第に則り肃々と進行する中で、地区ガバナーの所信表明「夢を追いかけよう」との熱い想いは我々の胸を打つものがあり、共感致しました。

本題のガバナーと各クラブとの質疑応答があり、各クラブ会長の本年度の抱負、そして事業内容の説明等、大変凝縮された内容で我々ZCも感動致しました。時間

1R 熱い想いが伝わった公式訪問 とき 8月 3日(土) ところ ホテル奥道後

とき 8月 3日(土) ところ ホテル奥道後

厳守はLCの基本であります、情熱の余りという事で約40分時間超過となつたことをお許し願いたいと思います。

その後、宮内政三地区名譽顧問から激励の言葉を戴き、各地区委員からの要望が

あり、無事閉会ゴシングとなりました。

公式訪問終了後、慣例となつて懇親会を実施するところですが、キヤビネットの指示もあり今年度は開催しませんでした。少し物足りない気もしましたが、それも又良ではないかと思いました。

公式訪問開催にあたり遠路訪問して下さったキヤビネットの皆様、本当にご苦労様でした。主催者側として準備万端整えて頂いた黒田和夫、友澤節男両ZC、そして事務局員の皆様本当にありがとうございました。意をつくす事ができませんでしたが、心より感謝申し上げてガバナー公式訪問の報告といたします。

1 ZC 杉野 康平
2 ZC 黒田 和夫
3 ZC 友澤 節男

2R 「ドリームプラン」を討議 とき 8月 4日(日) ところ ユアーズ

2R

8月4日(日)松前龍宗地区ガバナーが2Rを訪問されました。当時は第16回献血・検眼推進研究会を公式訪問前に開催しました。愛媛県赤十字血液センターの皆様より説明があり、若年層の献血を増やしていくのが課題であると問題提起されました。献血については献血登録をされていても、家族に常にもしもの時は、愛パンクに電話をする様にと、生前から伝える事が重要であると言う話を頂きました。

ガバナー公式訪問はガバナーチームの国旗、キヤビネット旗を先頭に入場から始まりました。岡本孝2ZCの歓迎の挨拶、宇高昭造地区名譽顧問のガバナー激励の言葉を頂きました。松前ガバナーからは「ときめく明日へ We Serve」のスローガンのもと、基本方針が熱く語られました。特に2017年、ライオンズクラブが出来て、100周年を迎えるにあたり、各クラブが残り5年間で成し遂げる「ドリームプラン」を策定し、達成に向け、5年を掛け実現させるプランです。クラブ会長の任期は1年間です。クラブとして、会員全員が目標に向かって取り組まなくてはなりません。単年度制のライオンズクラブが、5年間同じ目標に向け、事業に取り組まなくてはなりません。新たな取り組みを先ず作らなければなりません。新たな取り組みとして、クラ

ブ支部をつくる事です。クラブが親クラブとなり子クラブ(支部)をつくります。松前ガバナーの提案として、一つのボランティア、例えば掃除に特化したクラブ、献血に特化したクラブなど、つの事に集中して取り組むクラブです。運営方法や規約等、まだまだ未知な部分があるので、9月15日に開催されるライオンズフォーラムIN高松で実施される支部セミナーを参考に取り組んでいきたいと思います。フォーラムでは第3回になる女性フォーラムも開催されます。クラブ内の女性会員の比率を上げていくことが、クラブ活性化と会員増強に繋がると松前ガバナーは強い意志を持って語りました。女性会員の皆様は是非女性フォーラムに参加頂きたいたいと思います。

公式訪問終了後、ZC主催の懇親会を開催致しました。本年度からRCが居ないなかで、2Rの運営をする上で2R内4名のZCの連携が重要となり、今回リジョン内の交流が出来たのは大きな成果でした。サポート頂いたホストクラブ、新居浜ライオンズクラブのメンバーの皆様大変有難うございました。

1 ZC 加藤 久博
2 ZC 岡本 鈴木 良彰
3 ZC 神野 明孝
4 ZC





4 R のガバナー公式訪問は、9つのリジョンの最後に、9月15日(日)にサンポート高松3階大ホールで開催されました。当時は、午後からライオンズフォーラム・in 高松が同じサンポートで開催されましたが、ライオンズフォーラムについては別に紹介があると思いますので、ここでは省略致します。

また、当時はサンポートを中心としてトラピアスロンの全国大会が開催され、市のメイン通りである中央通りが交通規制されるという事態の上、台風18号も接近するという変な状況下での公式訪問となりました。台風の大風の中、朝7時過ぎからフォーラム運営委員のライオンズメンバーが駐車場の指示板を持ち、各所に立つておられました。また、午後のフォーラムと午前の公式訪問を同時にフォーラム運営委員に受付をして頂きました。皆様に感謝申し上げます。

4 R の公式訪問は正会員全員登録ということで4 R の22クラブの会長様はじめ会員の皆様には大変ご苦労をおかけしました。通常公式訪問はクラブ3役と会員理事が出席するという規模で行われますが、本期の松前ガバナーは、会員の皆様と直接お会いしてガバナーの思い、重点方針をお話したいということで、全員登録をお願いすることになった次

4R 公式訪問 新記録!! 638名が出席

とき 9月15日(日) とき ろサンポート高松大ホール

4 R のガバナー公式訪問は、9つのリジョンの最後に、9月15日(日)にサンポート高松3階大ホールで開催されました。当時は、午後からライオンズフォーラム・in 高松が同じサン

ポートで開催されましたが、ライオンズフォーラムについては別に紹介があると思いますので、ここでは省略致します。

また、当時はサンポートを中心としてトラ

ピアスロンの全国大会が開催され、市のメイン通りである中央通りが交通規制されるという事態の上、台風18号も接近するという変な状況下での公式訪問となりました。台

風の大風の中、朝7時過ぎからフォーラム運営委員のライオンズメンバーが駐車場の指示板を持ち、各所に立つておられました。また、午後のフォーラムと午前の公式訪問を同時にフォーラム運営委員に受付をして頂きました。皆様に感謝申し上げます。

4 R の公式訪問は正会員全員登録ということで4 R の22クラブの会長様はじめ会員の皆様には大変ご苦労をおかけしました。通常公式訪問はクラブ3役と会員理事が出席するという規模で行われますが、本期の松前

ガバナーは、会員の皆様と直接お会いしてガバナーの思い、重点方針をお話したいというこ

とで、全員登録をお願いすることになった次

会場は西予市宇和町にある愛媛県立歴史文化博物館が、ホールの収容人員、控室などの付帯設備、懇親会場も必要ないこと、駐車場の広さ、料金の安さ等々の条件を考慮すると、3名のZCが最適であるとして、リジョン会議に諮り、全員一致で、地区ガバナー公式訪問の会場を決定した。

地区ガバナー公式訪問当日は、西園寺名誉顧問・ZC・地区委員が席に着く中、15クラブ、130数名の会員の中を、井上2ZCの先導で渡辺副幹事の揚げる国旗、平賀幹事のガバナー旗、松前龍宗地区ガバナー、木内第1副地区ガバナー、橋本第2副地区ガバナー、田中会計、中川副幹事らキヤビネット一行が盛大な拍手の中を入場された。

森岡3ZCの司会のもと、国歌斉唱、ラ

イオンズクラブの歌斉唱、開会宣言、ゴング、役員紹介、歓迎の挨拶、地区ガバナー激励の言葉と続き、地区ガバナーのご挨拶では、①ライオンズクラブの使命 ②ワイ・サープの真の意味

③ドリーム計画 ④LCIF基金の重要性 ⑤入会式・退会式の重要性 ⑥女性会員の増強 ⑦支部クラブの結成等々について話された。

その後、地区ガバナーから各クラブの会長・

幹事・会計並びに5人の地区委員にピン、3名のZCにはペナントを頂き、それぞれライオンズローラーを三唱した。

続いて、7・8月に会員の増強をしたクラブ会長にはお褒めの言葉があつた。式典は厳粛な中にも暖かみのある会であった。反省点としては、「全員参加」のガバナーの心を各クラブの一人一人が汲み取るまでの活動が充分出来なかつたことである。

ガバナー公式訪問前に開催した諮詢委員会では、懇親会のない公式訪問は賛成の声が多く、併せて、登録料が500円であったことは、大歓迎であった。

最後に、この地区ガバナー公式訪問で指

導を受けた事柄を生かして、15クラブが大きく前進されることを願うものである。

ガバナー公式訪問で指導を受けた事柄を生かして、15クラブが大きく前進されることを願うものである。

1 ZC 山崎 武晃
2 ZC 井上 富士弥
3 ZC 森岡 知昭





植田1ZC、藤田2ZCの先導で、松前地区ガバナー、地区キヤビネットの皆様7名がライオンズ旗を掲げ入場、藤田2ZCのゴンゲで開会、植田1ZCの歓迎の言葉、山地地区名譽顧問の地区ガバナー激励のお言葉、木内第1副地区ガバナー、橋本第2副地区ガバナーのご挨拶の後、松前ガバナーから公式訪問の記念品の贈呈があり、早速要望事項に入った。山田国際第2副会長の方針を踏まえ、ライオンズクラブ100周年向け地区ガバナーの5か年ドリーム・プラン実行の初年度、ライオンズは会員の4大義務を積極的に実践しようとの熱い気持ちが伝わって来た。特に会員減少が続く現在、今までのやり方では実績に繋がるの期待薄である。そこで全世界で実績が証明されているクラブ支部の結成、家族会員推進のプログラムを実現することが不可欠である。しかしながら、会員の増強だけに走り、今まで築き上げてきたライオンズの誇りが失われないか心配する会員が多数いるのも忘れてはいけないと思う。

我がリジョンでもGMT・GLT・会則・プロトコール委員の指導の下、各クラブの委員長との勉強会を持ち検討する必要があると思う。その後、平賀キヤビネット幹事からライオンズフォーラム・in高松へ多数の参加のお願いがあり、各クラブとも献血奉仕、青少年の健全育成には継続事業として地域に喜ばれるアクティビティが行われている。以上のよう、各会長から現在の現状と今後の抱負が熱心に語られた。公式訪問は会員多数の参加を要請されましたが、クラブ3役 第1・第2副会長、各委員長、計140名という予想以上の出席者がおり、無事終了しました。

(事業方針)
日本ライオンズクラブが全国的に展開している薬物乱用防止に多くの市民団体を取り込んだ講演会等の実施、献血奉仕、青少年のスポーツ大会、子ども議会、環境問題の勉強会。各クラブとも献血奉仕、青少年の健全育成には継続事業として地域に喜ばれるアクティビティが行われている。以上のよう、各会長から現在の現状と今後の抱負が熱心に語られた。公式訪問は会員多数の参加を要請されましたが、クラブ3役 第1・第2副会長、各委員長、計140名という予想以上の出席者がおり、無事終了しました。

1 Z C 植田 誠一
2 Z C 藤田 賢慈

6R 「高知方式」はいつも盛会!

とき 8月24日(土) とこう日航ホテル

6R合同ガバナー公式訪問を受けて、17クラブの意見を申し上げます。

6リジョンでは、今回ガバナー公式訪問は1回だけで合同例会方式をするとの事で、なるだけ大勢の参加をお願いしました。8月24日(土)早朝9:30～10:30第1回地区常設5委員会10:40～12:00 1Z・2Z・3Z第1回地区ガバナー諮問委員会を行い、その場で終了後、昼弁をいただき、13:15～16:15まで地区ガバナー公式訪問でありました。が、熱が入り15分間延長になりました。その後の交流会は「高知方式」で18:00までたっぷり、身のある交流会が出来ました。

☆議事進行について

○良かつたこと

・ZC、各クラブにキヤビネットから事前に質問事項があつたこと。

・17クラブ会長に同じ質問があり、他クラブの意見も聞くことで、大変参考になつた。

・ガバナー、幹事、会計からの要望については詳しく丁寧に説明があった。

●改革したいこと

・ガバナーの挨拶が長い、必要事項、要点は書類にして、話を短くして、もっと17クラブの話を聞いてもらいたい。

・5委員報告も先の常設委員会で聞いていいので、必要事項を書類にしてほしい。

5R 各会長、熱い抱負を語る

とき 8月31日(土) とこう琴、参閣

あり、各クラブの会長の今年度の目標と抱負が発表されました。

(運営方針)
会員増強、委員会の活性化、例会の出席率向上、地域密着型のアクティビティ。

各クラブとも右記の方針が主を占め、どのクラブも会員増強は委員会を中心特に力を入れているが、現在の経済状況下、四苦八苦しているのが現状のようである。





各地で渴水が危惧されていた時に、恵みの雨と共にガバナーの公式訪問を受け、今一年のライオンズにおける基本方針を聞かせて頂いた。公式訪問は、国旗の掲揚を推進しようと言うガバナー方針に基づき、キヤビネット事務局長の掲げる国旗の入場で始まった。会議では必ず掲げ敬礼をしているものなのだが、新たな印象を受けた。

We ServeのWeの拡大解釈は意義のあるものだと感じた。我々のクラブ員だけでの活動よりも、地域住民を含めた奉仕活動は、より有意義なものとなると思われる。「より多くの会員と会いたい」とのガバナーハイビネット幹事の思いは充分に伝わり、全国レベルの大会をこの336-A地区で成功させようと、リージョン内の会員に喚起させて頂いた。

名古屋における国際第一副会長のセミナー、6Rの公式訪問と連日の激務の中、最後の我々の懇親会にお付き合いを頂いた

7R 公式訪問は国旗の入場で始まった。

とき 8月25日(日) ところ高知プリンスホテル

ガバナー及びキヤビネット役員、同に感謝申し上げますと共に、7R内16クラブの役員の皆様のご協力に対し厚くお礼申し上げます。

1ZC 東條
2ZC 白坂
3ZC 川添
節子 吉友
清友



8R 会員としての意識の高揚を育む

とき 7月27日(土) ところ阿波観光ホテル

7月27日午後1時から徳島駅前の阿波観光ホテルに8Rの会員が集いました。336-A地区トップを切つての開催です。本期は多くの会員を招集することをまず第一に、懇親会は省略といった内容となりました。5分前に会員は着席、これから入場式と静粛の中、入場の合図に全員が起立、まず国旗が入場しステージに設置されました。続いて武久国際理事が大きな拍手の中、入場し続いて木内第一副地区ガバナー他キャビネット役員が拍手で迎えられました。その瞬間、ライオン達の心が一つになりました。さあ開会式です。齋藤2ZCの司会進行で寺田1ZCが開会ゴング、開会宣言をし、全員で国旗に敬礼、国歌斉唱、ライオンズクラブの歌を唱和。歓迎の挨拶を1ZCが行い、激励の言葉として、武久国際理事、荒瀬元地区ガバナー地区名誉顧問からご挨拶がありました。松前地区ガバナーのご挨拶は、ガバナースローガン、キーワード、基本方針について熱意のこもった説明を頂き、また「徳島は世界的に有名な阿波踊りの文化があり、大勢の人々が集まるため、いろいろな場面を利用し、支部作りに結びつけ、欲しい」と熱く語られました。引き続き、

1ZC 寺田 正博
2ZC 齋藤 翠





日本人の感性が息づく、守り継がれる豊かな芸能文化

阿波人形浄瑠璃の世界



徳島県立 阿波十郎兵衛屋敷

〒771-0114 徳島県徳島市川内町宮島本浦184
TEL.088-665-2202 FAX.088-665-3683
<http://joruri.info/jurobe/>



徳島県立 阿波十郎兵衛屋敷

四百年の伝統芸能「阿波人形浄瑠璃」は、義太夫節の浄瑠璃と太棹の三味線、3人遣いの人形の三者によって演じられる人形芝居で、徳島が全国に誇る伝統芸能として、現在まで受け継がれています。

徳島では、農村舞台や小屋掛けによる屋外公演がほとんどであったため、文楽と比べて一回りも二回りも大きな光沢のある塗りの人形を使い、観客にアピールするよう前方に突き出し、大きな振りで演じられたと言られています。また、人形制作が伝統的に栄えたことも大きな特色です。阿波の人形座はもちろん、全国を巡業する淡路の人形座に提供するため天狗久や人形忠、人形富など多数の優れた人形師を輩出し、今も多くの人形師が活躍しています。

わひが国さで見せたりものは…



撮影/徳島市・立木写真館

●表紙説明

人形の頭の中で一番美しいとされる「娘頭」です。

細い眉が墨で描かれ、目元は涼やか、口元から白い歯が少しのぞきます。演目は「染模様妹背門松」役名は「お染」着物の柄は「段鹿子」、作者は初代「天狗久」です。

この人形は一片の疵も剥落もなく、着物の褪色もない、格別に保存環境が良かつたものと思われます。天狗久は明治から昭和期に活躍した阿波を代表する人形師で、天狗久が使用した製作工具と製品の一部は国指定重要有形民俗文化財に指定されており貴重なものです。

◎この資料を提供頂き、ご教示賜りました徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の事業課長、中修様に厚く御礼を申し上げます。

天狗久資料館
徳島市国府町和田字居内一七二
☎〇八八一六四三一二二三一

公式訪問は国際会長のスローガン「夢を追いかけよう」地区がバナーのスローガン「We Serve・真価發揮」の運営基本方針の説明の後、引続いて五人の各地区委員さんの所信表明 第1回ガバナー諮問委員会を時間の許せる範囲で行い各会長さん幹事他へ諮問、質問を致しましたがいい反応でした。8月24日に第1回リジョン会議を開催し、意見を交換し公式訪問検討事項を確認、特に高松でのフォーラムの成功について話し合いをしました。只今、例会訪問を継続中ですが今年の基本方針を再度お願いし、リタイアの防止、会員増強をお願いしています。

今年のライオンズ活動をいかに充実させ真価發揮を、そして夢の実現をし、とくめく明日に We Serve を心がけております。しかし、4月に手術をし、クラブの50周年の行事も重なり体調がもう一つでしたが、5月1日～2日高松で開催されたZC研修会は鳴門ライオンズクラブの一員として参加いたしました。7月から始まるリジョンの計画・活動を何人かの経験者のRCに教えて頂き兎に角3人のZCと相談し、6月1日に準備リジョン会議を地区委員五人前RC、キャビネットの方、計十人で

今後の予定を検討いたしましたが、まったく足並みが揃わずとりあえず各スクールとガバナー公式訪問の担当、開催場所などを決めないと今年の運営が進まないので、開催場所の予約を知り合いに頼みましたが、夏休みと阿波踊りの観光客などで適当な所が見当らず常に短しくて苦労しました。8Rは進んでおり羨ましい限りでした。終了後、予算のオーバーで頭を下げて何とかなり、いい勉強になりました。これで良かつたのか任期が終わってから振り返ります。公式訪問については9Rの皆様方、ガバナー、キヤビネットの方々、各関係者にお世話になりました。先頭に国旗を掲げて会議室に入場、開会ゴングを忘れたことなどなど月余り過ぎましたが、本当にほつとしています。これから9R 1・2・3Zの計画、行動をガバナー公式訪問の緊張した気持ちを常に心がけ、運営基本方針を遵守いたしたいと思っています。

1 Z C 三谷 弘史
2 Z C 川原 領哉
3 Z C 中山 富夫

神山 LC
徳島藍 LC



とき 7月28日(日) とぶワシントンホテル

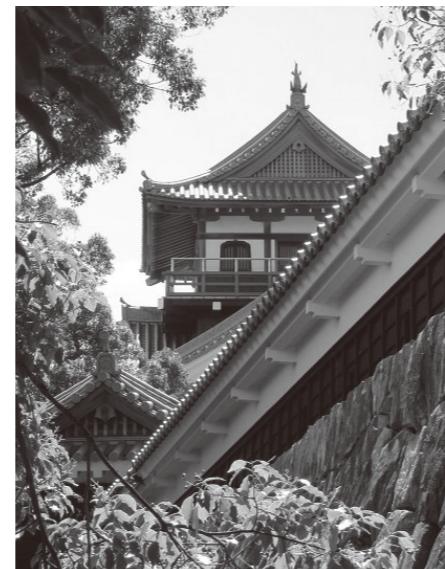
9R 会員増強&リタイア防止を討議



白木豊先生歌碑



城山の招魂碑



川之江城



農人町にある先生の生誕地の碑



川之江LCが発行した本(後)と 白木豊先生の「尾藤二州伝」(前)



寛政の三博士の 一人と言われた 尾藤先生

特別寄稿
元がばーの隨想

地区名誉顧問 宇高昭造（川之江ライオンズクラブ）



川之江が生んだ郷土の偉人
地区名誉顧問 宇高昭造（うたか あきさぶ）

私の住む町、川之江には幾人かの偉大な先輩がいる。その一人に寛政期（1745年～1813年）の儒学者、尾藤二州先生がいる。先生は古賀精里（佐賀県）、柴野栗山（高松市牟礼町）とともに幕府の学問所、昌平齋（湯島の聖堂）の教官を務めた朱子学者であり、「寛政の三博士」と言われた。その思想の流れは幕末の頼山陽や吉田松陰らにも影響を与えたと言われている。

今年12月4日は尾藤二州先生が亡くなられて二百年になる。川之江では尾藤二州顕彰会が没後二百年祭の記念行事を計画している。この顕彰会は川之江ライオシズクラブの同好会がその前身であり、先輩ライオシズクラブの同好会がその前身であり、先輩ライオシズクラブは結成15周年事業として、二

そして、この次は石津栄一市長が白木豊先生に依頼して610余ページに及ぶ「尾藤二州伝」の大著を結実している。本書には二州先生ゆかりの川之江の人たちとの往復書簡や先生が川之江を懐かしんで詠じた詩文が紹介されており、寛政期の郷土の様子が覗える。その書簡には故郷川之江に思いを馳せ、近藤篤山先生（伊予聖人）と称されたなど郷土の門人を激励し、川之江を懐かしんだ詩文を多く遺している。二州先生は江戸に召されて後も望郷の念が強く、当時の著名な絵師、谷文晁に川之江の山河を描かせ故郷を懐かしんでおられた。しかし、生涯帰郷できず、大塚（東京都文京区）の先儒墓所に眠つておられる。先生の詩文のいくつかを紹介したい。

川之江ライオンズクラブは結成15周年事業として、二州研究者、市内有識者に執筆を依頼して、1976年に240ページに及ぶ「尾藤二州先生顕彰会誌」を発刊。執筆者には四国中央市土居町出身の白木豊先生（「閑谷釧采」、「頬山陽と方正学」など）、山上次郎（斎藤茂吉の生涯」など）、井川隆重（元川之江町長）、石津栄一（元川之江市長・元川之江ライオンズクラブ会員）、また編集は谷彰先生（内科医、元川之江ライオンズクラブ会員）が務めている。

白石清泉冷笑人（白石、清泉冷ややかに人に笑みす
〔冷笑〕ちやほやしないほほえみ）
泉露清（泉は清を露わす）

長松之下 自有清風（長松の下 自ら清風有り）
〔長松〕大きな松〔恩師〕すいし

水聲長在耳 山色不離門（水聲長く耳に在り
山色門を離れず）

これらはいすれも二州先生の故郷川之江への望郷の詩である。私の生家は農人町であるが、実は先生の生誕地もこの農人町、昭和30年頃までは川之江の母なる川、金生川が農人町の西側を流れており、ここには自噴水(泉)がある。町のあちこちにあり、我が社の社名もそれに因んでいる。私がこの二原へ登り、頂の里へ出る。遠く、

江戸にあつて先生も金生川の白い石(岩)の景観が瞼にあり、せせらぎの音が耳に残つてゐたのであろう。金生川の河口の東の砂浜には松並木の林があつた。その名残が八幡様の境内に残つてゐる。涼しい浜風がそよぎ清々しい。私もその風を味わつた。そしてその風が砂浜に続く原っぱの草むらにそよぎ、その風の中から自分が生まれたような錯覚を持つた記憶がある。また二州先生に学問を紐解いた宇田川楊軒先生が川畔に住んでおられた。私にも自然科学への目を開いてくださつた芥川先生(元川之江中学校校長)の存在が思い起される。先生の菩提寺は仏法寺であり城山(仏殿城)の麓にある。昌平黌のある学生が先生を「心は水声山色の間にあり」と評したそうである。当代の学問所の教授でありますながら、気負わず自由な思想家であつたこと、故郷を愛されたことを私は嬉しく思う。

あつたこと、故郷を愛されたことを私は嬉しく思う。
先生没後百年祭は宇摩郡(現四国中央市)の多くの人
びとで盛大に挙行された。

また百年祭では城山の足摺崎の近くに「招魂碑」が建立された。この碑には三島毅先生(号は中洲・漢学者・二松学舎創立者)の撰文と漢詩が刻まれている。その漢詩を読み下し文で紹介したい。碑の隣にある案内板は我クラブが寄贈した。

演し和歌を残している。「川之江は椿咲く頃、良き人をしぬびておれば鳥が音聞こゆ」、城山の二の丸広場に歌碑があり、背後の藪椿の森は春にはメジロが葉陰に群がっている。白木先生は心から三州先生を敬つておられた。



YCEは世界を結ぶ虹の架け橋です

「青少年交換事業」は日本ライオンズクラブ設立後1962年から始められ、その事業は現在まで引き継がれています。しかし、年月が経つに従つて会員が老齢化し、「もう、済んでしまった」と言うクラブが多くなりました。また、経済発展に伴い、自分の金で海外旅行をする自由な旅行が良い、と言うような意見があります。ライオンズクラブの青少年交換事業は、手続きが面倒だから国際協会を通さなくとも、姉妹クラブを通じて自分のクラブで単独に事業をやればいい、という考えもあります。

交換事業がクラブ会員の老齢化や会員数の減少で予算がとれない、と言う理由で事業として取組むクラブが少なくなっています。しかし、ライオンズクラブ国際協会を通じての派遣受入れとクラブ独自の青少年交換とはレベルが違うような気がします。全国8MDのYCE委員長が、お互いに担当窓口と話し合いを持ち、全世界の国と派遣受入れが出来る、と言うことは素晴らしいことだと思います。

派遣・受入れでホストクラブやホストファミリーとなると、手続き、経費、安全等、沢山の課題があります。その上「言葉の障壁」があります。熟年家庭では孫や嫁が面倒を見ることがあるでしょう。一番お世話になるのは、妻です。でも、終わってみたらその達成感は苦労以上のものだと思います。

私事ですが、クラブ結成後1年目で、トルコからの来日生を受け入れました。2週間後、第2ホスト家庭に移動するときに突然賜りました336-B・C地区ガバナー、橋

田島LCの皆様。開村式、閉村式に出席して、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期交換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長の宇高昭造元336-A地区ガバナーの「皆が楽しければよい」とのお言葉を念願にプランを練り、日本で一番早く国立公園に指定された瀬戸内海を中心に「栗林公園、屋島、四国村」世界に誇るプラスチック加工会社「ニップラ」、石の芸術家「イサム・ノグチ」の作品と居宅、大人気の瀬戸内国際芸術祭の直島「地中美術館」など、若者が興味を持ち、しかも日本の歴史文化に触れることのできるサマー・キャンプを計画しました。通訳は日野さん、山本さん、三原さんに依頼し、写真と動画は香川洋二、RYCE委員が担当。長尾和彦IT副委員長、三原主幹YCE担当キヤビネット副幹事には大変お世話になりました。彼等の

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが157名336複合地の8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。本当に帰国を許可されたのではありませんが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

336-A地区YCE・国際関係委員長 藏本 守雄

YCE受入れ・派遣事業について

新しい年度が始まり、あつという間に来日生がやって来ました。ホストアドミリーにお願いしたと思つたらキャンプの始まりです。仕事の関係でキャンプにはフルに参加できなかつたため岡本前委員長にお願いし最後の晩だけ参加しました。来日生たちが書いたレポートを読んだのと、最後の一晩だけ一緒にいた感想を書きます。

先ず観光、見学はとにかく暑かったので、そのせいかきれいでエアコンの効いている所は評判が良かったようです。特に直島の地中美術館を代表とする美術館はみんなに気に入られ、一方古くて暑い建物はあまり興味がなかったようです。しかし四国村には紅葉の季節にもう一度来てみたいという子もいました。

食事はすべて興味深く食べていましたが、特に「鶴」の骨付き鳥のさよならディナーパーティーは気に入ったとのことでした。「わらや」のうどんは、あまりに量が多くて食べ切れず、もつたいない、申し訳ないなどの感想を持つたようです。

一泊目のトレスター白山の宿泊は日本間で寝たが、ベッドを用意されていたホストアドミリーが多かつたせいか、畳に寝るのが初めてで感動したようです。多くの人と一緒に寝るのが楽しく、お風呂は大浴場でみんな戸惑って恥ずかしくて入れなかつたとの意見がある一方、とても良かつた、もう一日あつたらまた入りた

陽気で、行動的なYE生

336-C地区YCE・国際関係委員長 高橋 淳

生がやつて来ました。ホストアドミリーにお願いしたと思つたらキャンプの始まりです。

手助けなしには今回の行事は出来なかつたでしょう。又、多大なご協力を頂いた地元、直島LCの皆様。開村式、閉村式にご出席賜りました336-B・C地区ガバナー、橋

田島LCの皆様。開村式、閉村式に出席して、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期交換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長の宇高昭造元336-A地区ガバナーの「皆が楽しければよい」とのお言葉を念願にプランを練り、日本で一番早く国立公園に指定された瀬戸内海を中心に「栗林公園、屋島、四国村」世界に誇るプラスチック加工会社「ニップラ」、石の芸術家「イサム・ノグチ」の作品と居宅、大人気の瀬戸内国際芸術祭の直島「地中美術館」など、若者が興味を持ち、しかも日本の歴史文化に触れることのできるサマー・キャンプを計画しました。通訳は日野さん、山本さん、三原さんに依頼し、写真と動画は香川洋二、RYCE委員が担当。長尾和彦IT副委員長、三原主幹YCE担当キヤビネット副幹事には大変お世話になりました。彼等の

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが157名336複合地の8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。本当に帰国を許可されたのではありませんが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

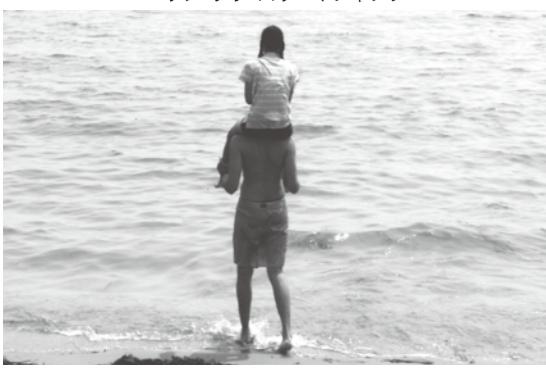
さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。

さて、今年度の交換実績は全国で派遣が受け入れが23名（台湾17、欧州5）、派遣が8名です。336-A地区では受入れが6名、派遺が8名でした。夏期父換事業では336-A地区はA、B、C合同のサマーキャンプを受け持ちました。336-B地区では受入れが6名、委員長との交渉はとても長い時間がかかり、やメールでの交信が出来なく、電話が一番手つ取り早い通信手段でした。トルコのYCE委員長との交渉はとても長い時間がかかり、當時で電話代が3万円以上かかりました。本当に交換来日生は、途中帰国は許可されないはずですが、彼女は帰国を許可されたのです。そんなことがあっても我がクラブは、結成以来11名の受入れと3名の派遣を行いました。



ワン・ツウ・スリー！ジャンプ

瀬戸内海は美しい！みんな泳ぎました

ウーン！日本 の技術は凄い

各国からYE生

サマーキャンプ開会式(国際ホテル)

懇談会

ファインダーから
見えたご褒美

画像が好きな私はビデオカメラのファインダーを通じ、その時空を覗くと限られた空間に突然飛び込んでくる現実が面白いといつも感じていました。笑顔であいを求め合う顔であったり…。



4 R.Y.C.E
国際関係地区委員
香川 洋一

私は今年の7月25日から28日まで
松市を主会場に開催されたライオンズク
ラブ国際協会336A・B・C複合地区Y
CEミニ・サマー・キャンプにYCE地区委
員として参加しました。そして各国から
集まつた子どもたちの記録を残す役目
を仰せつかりました。開校式は高松国際
ホテルで松前ガバナーはじめ各役員の出
席のもとで始まりました。開校式前の子
どもたちは今あつたばかりだというのに、
旧知のごとくおしゃべりに花が咲いてい
ました。無論彼らの共通語は英語でした。
しかし、開校式が始まると借りてきた猫
のごとく大人しく着座していたのが印象
的でした。

チ庭園美術館を35℃の炎天下、見学しました。芸術に対する感性は個々に違つて当たり前ですし、彼らがどこまでイサムノグチ氏の作品が理解されたかどうかファンダーラーを通じてもわかりませんでした。翌日は水族館の歴史を変えた世界に誇るアクリル板加工メーカー曰プラ株式会社を訪問しましたが、アクリル板の接着技術や透明度の対する質問が彼らの口から相次ぎ、担当者も興味を持つてくれたことに感謝するとそつと私に耳打ちしてくれました。ところで、この日の昼食は「わら家」の名物「たらいうどん」でした。やはり、食べ物というものは心和ませ、会話の潤滑役を果たすものです。ナイフフォークで生活している彼らも、箸の扱いをどこで学習したのかわからせんが上手なことには驚かされました。ちなみに彼らのカメラでシャッター回数の一番多かつたシー



ハートで応えるYCE生

ンはこの「わら家」だったと記憶していました。四国村では蜂に刺されるハプニングもありましたが、この頃になるとカメラを意識し、自己アピール、パフォーマンスをカメラの前で表現するようになっていました。パフォーマンスのピークは翌日の直島旅行でした。地中美術館見学後、直島ライオングのメンバーが用意してくれたスイカ割り大会と海水浴の時でした。この頃になると彼らはグループになりジャンプを繰り返し、空中停止の写真を撮っていました。特に女性たちのあくなきジャンプによる日中シンクロ撮影がヒントであることを彼らはまだ知りませんでした。そこで、私も彼らのリクエストに応じ、幾度となくカメラのシャッターを押し幾枚か面白い画像を得ることができました。



ライオンズクラブ国際協会 336-A・B・C地



鴨居に気を付け



今から抹茶を いただきます



栗林公園、掬月亭



栗林公園、ウワー鯉が一杯いる！

見学～屋島。四日目の栗林公園～閉会式を彼らと共に過ごしたが、どの場所でも「香川を知りたい、楽しみたい」という意欲と好奇心に圧倒されるばかり。「日ebra」では、その製品が東京スカイツリー、ドバイ、台湾、などの水族館、世界各國で使われている事に目を丸くしていた。「四国村」では厳しい暑さにも負けず、釣り橋や古民家の前でカメラやスマホ片手に大はしゃぎ。「栗林公園」で鯉のエサやりに興じ、美しい庭園に見とれながら、お抹茶も味わった。

日本のマンガが大好きで特に「ナルト」が好きと言う子、行く先々で「W.I.F.I.」使えますか?と聞いてくる子など、どの国の子達も、皆、「今どきの若者」だ。それでも「一番印象に残ったのは、そんな「今どき」の子達が様々な場面で見せる違った一面だ

た、若者らしい「作戦」だったのです。

四国村を見学中に一人の女の子が虫に刺されてしまった。寒い国から来ている彼女は、連日の「超暑い」に「痛い」が加わって明らかに意気消沈していた。すると4、5人の友人が彼女に寄り添い、うちわで扇ぎながら、声をかけたり、氷で冷やしてあげたり、と薬が届くまで付き添っていた。薬を塗り、やがて笑顔がもどったが、彼女にとって一番の薬は、周囲の友人達のサポートだったたようと思える。

彼らは皆、このキャンプで初めて出会ったというが、どう見ても旧知の仲としか思えない程、「国境」を軽々と越えて、幼なじみか実の兄弟姉妹のように、語り合いい、じゃれ合い、助け合っていた。「英語」という共通言語を使い、日本という異国で固い絆で結ばれた彼らは、今後もSNSを通して友情を深めていくのだろう。高松

ここで名残惜しそうに手を振っていたが、ある男の子は耐え切れず皆に背を向けて肩を震わせていた。

参加者がそれぞれのホームステイ先で過ごし、帰国した直後、フェースブック上では、次々に「思い出の写真」やコメントがアップされていた。そこには、ホストファミリーと一緒に過ごし、友人達と交流し、ライオンズのメンバーと肩を組み合う、彼らの最高の笑顔が弾けている。「○○家のの人達が恋しい！」「皆さんありがとうございます！」「楽しかった！ また行きたい！」そんなコメントであふれていた。彼らの心の中には「日本大好き」という気持ちはしっかりと刻まれたようだ。

な準備をして心を込めてゲストを迎えた
—その心意気に彼らは感動し、立派な「親
日家」となつて帰国したのだ。
これがこそが、即ち、日本流—
「オ・モ・テ・ナ・シ」に他ならない。
明日を担う誠実な若者達に、これから
もずっとその「心」を伝えていていただき
たいと、心底感じることができた「眞の国
際交流」だった。

このよきな素晴らしい活動の一環に参
加させていただき、心より「ありがとうございました！」





YE生を受け入れ、派遣をしてみませんか??

336-A地区YCE・国際関係委員会担当 副幹事 三原主幹

日本では1962年から開始したYE事業。大きなメリットが3つあります。

- 1) 派遣から帰国したYE生が見違えるように成長していることを実感出来ます。
その後の人生が変わるほどの経験をさせてあげられます。
- 2) 外国人と友達になります。
- 3) 受け入れのYE生がもっと、もっと日本びいきになって民間の親善大使になってくれます。

ここでは難しい話はやめて、素朴な疑問をQ&Aにしました。

Q1 YE生にどんな接遇をすればいいのでしょうか?

A 日本人はついついお客様扱いをしてしまいますが、家族の一員として扱ってあげてください。いつも食べているものを提供してください。

なんにでも興味を示します。時々、お好み焼き、回転すし、うどん店に連れて行ってあげてください。大喜びすること請け合いでいます。

Q2 言葉の問題はどうすればいいのでしょうか?

A ふつうの事では辞書片手に(今はインターネットが助けになります。)何とかなります。小中学生以上の子供がいると仲良くなれるのも早いし、外国や外国語に興味を持つきっかけになるでしょう。

Q3 食事の内容は?

A 基本的に日本食で結構です。ただ宗教により、牛、豚肉、が駄目ということがあります、それも勉強です。最近は世界的な寿司ブームで刺身がOKの子供も多いです。

Q4 ホストファミリーに経済的負担が多いのでは?

A よくYE生を受け入れるクラブでは予算化したり、内規で一日当たり3,000円から5,000円支給しているクラブが多いと思います。

Q5 YE生は過去にどんなことに驚いたか?

A 街が清潔できれい。日本人は皆優しく親切。ライスフィールド(稲の田圃)の緑が美しい。街にやたらと電線が(いろいろなケーブル)張りめぐらされている。電車のダイヤが正確。日本人は時間にうるさい。雪を見るのが生まれて初めて等々。不思議の国日本です。

Q6 母国との通信手段は?国際電話代の負担は?

A 昔は電話することをまずその都度許可してから、折り返しかけさせるようなことをしていましたが、今はインターネットが発達していて、Skype(テレビ電話のようなもの)、Facebook等で使用料はただのものが多いです。

Q7 帰国した後、YE生徒の付き合いは?

A それっきりブツリ連絡が切れる子もあれば、メールでやり取りしたり、家族を連れて来日し、家族ぐるみの付き合いが始まることもあります。中には親子二代に亘ってYE生として受け入れたライオンも居りました。

Q8 対象年齢は?

A 16歳から21歳です。ただしヨーロッパは17歳から。

Q9 その他、気を付けることは?

A プライバシーを守ってあげることです。部屋でどうしているか気になってきなり、部屋のドアを開けたりせず、ノックするか声をかけてからドア、もしくは襖をあけてください。

もう一つ、冬季に南の国から来たYE生には、暖房が欠かせません、ストーブ等火事や一酸化炭素中毒の原因になるような物は避けて電気毛布を使用させるのがベターとおもいます。

Q5 YE生は過去にどんなことに驚いたか?

A 街が清潔できれい。日本人は皆優しく親切。ライスフィールド(稲の田圃)の緑が美しい。街にやたらと電線が(いろいろなケーブル)張りめぐらされている。電車のダイヤが正確。日本人は時間にうるさい。雪を見るのが生まれて初めて等々。不思議の国日本です。

色々ありますが、受け入れ側も楽しい体験が出来ます。是非とも一度派遣、受け入れを経験してくださるよう、お願ひいたします。

**YCE事業は最もライオンズが誇る
国際親善アクティビティです。**

すべてのことが、最高の経験でした!

フィンランドの女子高校生
ケア・ルツネンさんの手紙▶



スロベニアの大学生
ヒリップ・ヒリップボヴィッチ君より▼



ライオンズクラブのサマーキャンプは短かったけれど私の人生でベストと云える経験でした。思い出して今も楽しんでいます。生で来日してから皆、素敵で優しく、カインドでオープンハートの持続的な人間です。日本を選択したのは、私がもっと若い頃、この美しい国と結びつけられたアニメを見たことです。

ホストファミリーの小谷さんは優しくて、いろいろな所に案内してくれました。また、ビューティフルで、ナイスで愉快なたくさんの人々を紹介してくれました。サマーキャンプではいい雰囲気で、みんなで一緒に過ごしました。YE生はみんな快適なものでした。神社、美術館、公園に行きました。YE生はみんな素晴らしい、台湾からたくさん来日していましたので中国語も少し覚えました。イサムノグチのストーンガーデンは興味深いものでした。夕食をしてカラオケボックスで歌いました。翌日は日プラ工場見学、昼食はたらいうどんでデリシャスでした。

土曜日には直島をフェリーボートに乗って訪問。安藤忠雄地中海の美術館見学のあとビーチで泳ぎました。そして高松のホテルに帰り、さよならパーティーでした。

栗林公園ではティーセレモニーでお抹茶をいただきました。閉校式では涙の別れとなりました。すべてのことが、最高の経験、メモリーです。きっと人生の宝物になるでしょう。

親愛なる日本のファミリーへ Filip Filipovic

※日本語訳/三原主幹

私の日本に対する印象は人々が本当に親切で、手助けをしてくれたことです。私はすべてのホストファミリーで安心でき、心地良さを感じました。みんな私を家族のように扱ってくれました。そしていろいろなアクティビティを用意してくれて、楽しむ事ができました。日本滞在中、例えば、氷上小学校と三木高校を訪問しました。若者と一緒に時間を過ごせたのは興味深いことでした。高校では英語の授業に参加しました。ただ驚いたのは私と同世代の学生が英語をうまく喋れないことでした。

素晴らしい公園(栗林公園)も訪れる事ができました。日本の文化を語れるような公園でした。また、剣山の頂上にも行きました。フィンランドにはこれといった山がないので、山頂からの眺めは素晴らしいものでした。

私は日本語を勉強して、いくつかの表現を覚えましたが、残念なことに私の日本語が充分でなく、相手が英語を話せないときはコミュニケーションがうまくいかないこともあります。

サマーキャンプはほかの国のYE生とも話ができ良かったです。スケジュールにはいくつかのトラブルが有りました。私が来日前に知らされていたスケジュールとは全然異なるものでした。キャンプでは英語が話せる大人が2人しかいませんでした。それでもキャンプを楽しむことが出来ました。

日本滞在は私の人生で最高に思い出深いものでした。いろいろなことを学び、素晴らしい人々に出会いました。いつの日かもう一度日本を訪れる機会があるよう

望みます。
愛を込めて…
ケア・ルツネンより

(2013年度のYE生です)

《YE生が体験した一例》

日本で体験したこと

- 三木さぬきライオンズクラブ例会出席
- 浴衣を着て七夕祭り
- 三木高校で授業に参加(英語、古典、国語、数学、バレーボール)●三木高校の野球応援参加(生島球場)●氷上小学校訪問(給食もいただく)●栗林公園で生まれて初めて実物の亀を見た
- 西日本放送(ぎょうせん)で放送された
- 空手道場で練習に参加
- 剣道体験
- 茶道体験
- 三越でショッピング
- 漫画喫茶
- 金魚すくい
- プロに似顔絵を描いてもらった(大好きなマンガ名探偵コナン入りで)

食事

- 美味しいもの
 - すき焼き、串カツ、てんぷら、ウナギ、ハモ湯引き、回転すし、カレーライス、うどん、八宝菜、刺身、日本そば、お好み焼き、焼きそば、ラーメン、ちゃんぽん。
- 苦手だったもの
 - タコ、焼きナス、お吸い物、魚のきも。



336-A地区ライオンズクエスト夏季ワークショップ(WS) 報告

継続的に普及活動に取り組む5つのクラブをご紹介します。

2013年8月12日(土)～9月8日(日)
5クラブ開催124名受講

教育委員会全面的支援
香美ワークショップ

土佐山田LJCクエスト委員会
委員長 大橋 明美

昨年、一昨年の夏に引き続き、香美市教育長の旗振りの下、市内各小中学校の先生方30名にお集まりいただきました。比較的若い先生が多く見受けられます。それは参加者の中に学校支援地域本部のコーディネーターさんや教育支援センターの支援員さん、相談員など幅広い現場からおいで下さったことからも分かります。WSの二日間、先生方の集中力と団結力には圧倒されました。全員の真剣な眼差しと笑顔が印象に残っています。終了が近づくと涙目の方もちらほら。終了後、「このプログラムはすぐ使える」「解りやすい」「受講しています」といいます。「せっかく身に付いたスキルをこの地域で共有し、より効果的に活かしたい。」ということです。 WSでは、あと少し「コミュニケーション力があれば」と思います。私共の地域の学校もいじめや不登校、犯罪や薬物依存、家庭での育児放棄、自殺。ニュースを見聞きするたび、あと少し「コミュニケーション力があれば」と思いました。私は地域の学校も随分進歩があった。」という評価を頂いています。地域では開かれた学校を目指し、



「子どもたちの健やかな成長を願う」

香美市教育長 時久 恵子

香美市では平成23年度から土佐山田ライオンズクラブのご支援を受け「ライオンズクエスト」を受講しています。本年度で教職員の修了者は83名となりました。本市教職員のおよそ30%が修了していることとなります。

この「ライオンズクエスト」は子どもたちが日常生活の中で困難に直面したとき、それを自らの力で乗り越え、周りの人々と人間関係を築き、自分らしく生きていけるライフスキルを身につけること、そして自尊感情や自己有用感を高めることをねらいとしているプログラムです。学校現場では児童生徒の人間関係づくりの力や自尊感情の向上をめざして、各教科や領域等で児童生徒に指導・支援しているところですが、必ずしもこのような確立されたプログラムによるわけではなく試行錯誤の部分がありました。そういうわけでこのような研修機会を与えていただきとても感謝しています。とりわけ「正しい意思決定」「サービスラーニング」に関するプログラムはとても参考になりました。

昨年、私もライオンズクエストを受講させていただきました。参加者は同じ市内に勤務している教職員ですが、それぞれ所属校も違い、職種も異なりほとんどが初対面の方でした。最初はみんな表情も硬く、ぎこちない感じでした。しかし、人に親しむこと、人を理解する活動から始まり、みんなで協力しながら課題を解決するプログラムを終えるころにはすっかり仲のようになっていました。今も当時の仲間に会うと笑って挨拶したり、気軽に話したりしていく、私の人間関係も広がりました。また、各々の参加者がこの研修で学んだことを子どもたちの人間関係づくりやライフスキルを高めるために活用しています。本当に心強いことだと思っています。

香美市の子どもたちの健やかな成長を願い、本市で「ライオンズクエスト」実施にご尽力、ご支援くださいました土佐山田ライオンズクラブの皆様、ご指導いただきました外川先生に心から感謝いたします。

◆青少年の健全育成を目指す◆ Lions Quest ライフスキル 教育プログラム

クエストプログラム
ってええなもし!
(伊予弁)

ライフスキル
って
しつちゅう?
(土佐弁)

ライフスキル
たいぎやわあ!
(讃岐弁)

クエストって
難しいんちやうん?
(阿波弁)

理念や考え方
**家庭・学校・地域が手を
結び子どもたちを育てる。**



336-A地区ライオンズクエスト
特別委員会
委員長 春木 扶佐子(鳴門LC)

336-A地区における普及活動は2006年より始まり、7年が経過しました。その間、ライオンズクラブの皆さまが開催され、受講者も700名余りとなりました。現在、学校の授業で取り組んでいる実施校も増えつあります。しかし、ライオンズクエストの持つ可能性が十二分に發揮されるためには、まだ多くの課題があることも事実です。本誌に寄せられました知識や経験、熱意を交換・共有し、課題やアイデアについて考えながら普及活動の更なる発展に繋げてまいりたいと考えております。このような特集を企画していただきました336-A地区キャビネットの皆さんに感謝しております。今後ともライオンズクエスト事業にご協力下さいます。ようよろしくお願ひいたします。

子どもたちにつけたい力

ライオンズクエスト認定講師 北山敏和

私はいろいろな機会に先生たちやライオンズの方々に「今の子どもたちに欠けているところ、足りないところは何でしょう。もっと身につけさせたいことは何でしょう」と尋ねることにしています。すると全国どこでもほぼ同じ、いや、まるで同じ答えが返ってきます。

あいさつ(が出来ない/出来るようになってほしい)、がまんする(ことができない/出来るようになってほしい)、けじめ(がない/をつけてほしい)思いやり(に欠ける/ある言動をしてほしい)、積極性(が足りない/がほしい)、コミュニケーション能力(がない/をつけたい)…などで、学力という人はまずいません。そこで、これを今の子どもたちはダメだ!で終わらないで、どんな能力が足りないから出来ないのか、どんな能力をつけてやれば出来るようになるのか、という観点で見てほしいと提案します。

そして、出された意見を①自分で自分をコントロールする能力(がまん、けじめ、積極性)と、②他の人とうまく関わる能力(あいさつ、思いやり、コミュニケーションなど)に分類し、「生活の中で“行動する能力”ですね。」とまとめます。

先生やライオンズの方々は、「今の子どもたちは知識はあるが、生活の中で“行動する能力”が欠けている、その力をつけさせたい」と言っているのです。

それこそが「ライフスキル」のことなのです。生活の中で“行動する能力”的ことなのです。

このプログラムは教育現場の先生方にW Sを受講、体験を通して教育者のスキルアップを高めていただき、学校の現場において子どもたちが抱える「いじめ、不登校、校内暴力」などの問題の減少に寄与することを目的とした国際プログラムです。

授業を受けた子どもたちへの好ましい変化・「教員の指導力への好ましい変化」をめざしています。このプログラムは世界80カ国に導入され、教材は36カ国語に翻訳され、120

日本に導入されて15年が経過しました。日本のライオンズクエストプログラムは小学校1年生から中学校3年生までを対象とした「小学生版」と「思春期版」があり、ライオンズクラブ国際財團(LCIF)により四大交付金の一つである援助金を受け、実施されています。336-A地区では各クラブの青少年委員会を中心として普及活動にご協力いただいており、0万人以上の子どもたちに伝えられています。



遠くは三重県から バイクに乗つて



鳴門ワークショップ

336-A 地区

ライオンズクエスト特別委員会

委員長 春木 扶佐子

副地区ガバナーをはじめとする地区役員の方にも参観していただきました。さすがにプログラムの良さを知って自分の意思で受講された方が多かつたせいか、熱い活発なWSとなりました。昨年からの実践校である鳴門中学校からも4名の参加があり、今回で担任全員が受講できました。参加者からは「これから教育活動の軸の一つとしてライフスキル教育を取り組んでいきたい」という熱い思いや「生きていくスキルそのものであると改めて実感しました。生徒に必要なスキルであり、指導者側にも必要なスキルが盛りだくさんで早く、実践した結果から校内型WSや体験会を開いてほしい」という要望も多くあり、先生方からもこのプログラムを子どもたちに届けたいと言う思いを強く感じました。WSを受講し、実際にプログラムに触れた教員によるこのような評価を見るにつけ、もっと社会における認知度を上げて、青少年の健全育成のために学校教育現場での実践を広める努力をしなければならないとの決意を新たにしました。

8月19・20日の2日間、鳴門市消防署会議室にて外川澄子認定講師を迎えて公募型WSを開催。徳島県内ばかりでなく、遠くは三重県・兵庫県・愛媛県からも受講いただき、他県からの参加はH.P掲載がPRにつながったようです。地区内では板野LC、脇LCのご協力をいただき、木内第一副地区ガバナーをはじめとする地区役員の方にも参観していただきました。さすがにプログラムの良さを知って自分の意思で受講された方が多かつたせいか、熱い活発なWSとなりました。昨年からの実践校である鳴門中学校からも4名の参加があり、今回で担任全員が受講できました。参加者からは「これから教育活動の軸の一つとしてライフスキル教育を取り組んでいきたい」という熱い思いや「生きていくスキルそのものであると改めて実感しました。生徒に必要なスキルであり、指導者側にも必要なスキルが盛りだくさんで早く、実践した結果から校内型WSや体験会を開いてほしい」という要望も多くあり、先生方からもこのプログラムを子どもたちに届けたいと言う思いを強く感じました。WSを受講し、実際にプログラムに触れた教員によるこのような評価を見るにつけ、もっと社会における認知度を上げて、青少年の健全育成のために学校教育現場での実践を広める努力をしなければならないとの決意を新たにしました。



高知ワークショップ パワーアップした プログラム受講

とさみづきLCクエスト特別委員会

委員長 北 泰子

ケーションなど、共に学ぶ方法が学べた」などの感想がありました。すでに就職の決まっていた大学院生からも、「就職内定先から与えられた課題が、ワークショップの内容と同じで、驚いた。今からすぐに役立つので、うれしい」との声も聞かれました。今まで以上にパワーアップしたライオンズクエスト・プログラム。より多くの学校で青少年育成のために役立ててもらえるよう、今後も普及活動に取り組んで行きたいと思います。

8月24・25日の2日間、高知市春野文化ホール・ピアステージにて、公募型ワークショップを開催しました。今回の参加者は校長、元校長、教諭、教育関係者、大学院生・会社員、ライオンズメンバーなど多彩でした。ライオンズクエスト認定講師・北山敏和先生のご指導のもと、参加メンバー全員が良い雰囲気のなかで、楽しく学んでいたたくことができ、大変意義ある2日間になりました。

今回の夏のワークショップから、「思春期版」に加え、「小学生版」のテキストが加わりました。参加者はどちらかのテキストを選び、即、授業で使用することができます。参加した小学校の先生にとても喜ばれました。参加者からは、「2日間、本当に楽しく学べた。学校では教科の指導要領はあるが、人間力育成(道徳)の部分は教師の力量にまかされている。生徒たちの荒れる姿を見ていると、低学年かららのライフスキルの習得がとても大切だと思う。他の教師にもこのライオンズクエスト・プログラムを知らせたい」「心開かれた集団の中で学べた。小学校の低学年からライフスキルを学ぶ必要性を強く感じた」、「教師にも生徒にも役立ち、すぐ使えるスキルが多く、生徒とのコミュニケーション

で外川澄子認定講師を迎えて公募型WSを開催。徳島県内ばかりでなく、遠くは三重県・兵庫県・愛媛県からも受講いただき、他県からの参加はH.P掲載がPRにつながったようです。地区内では板野LC、脇LCのご協力をいただき、木内第一副地区ガバナーをはじめとする地区役員の方にも参観していただきました。さすがにプログラムの良さを知って自分の意思で受講された方が多かつたせいか、熱い活発なWSとなりました。昨年からの実践校である鳴門中学校からも4名の参加があり、今回で担任全員が受講できました。参加者からは「これから教育活動の軸の一つとしてライフスキル教育を取り組んでいきたい」という熱い思いや「生きていくスキルそのものであると改めて実感しました。生徒に必要なスキルであり、指導者側にも必要なスキルが盛りだくさんで早く、実践した結果から校内型WSや体験会を開いてほしい」という要望も多くあり、先生方からもこのプログラムを子どもたちに届けたいと言う思いを強く感じました。WSを受講し、実際にプログラムに触れた教員によるこのような評価を見るにつけ、もっと社会における認知度を上げて、青少年の健全育成のために学校教育現場での実践を広める努力をしなければならないとの決意を新たにしました。



坂出ワークショップ フレッシュな講師を迎えて

坂出LCクエスト委員会

委員長 橋村 隆文

9月2日・3日の2日間、坂出市市民ふれあい会館で第6回、公募型WSを開催しました。今回は7月に認定講師になられたばかりのフレッシュな中村千恵子先生をお迎えし、参加者も20代後半から30代の若いフレッシュな教員が多く、パワフルなWSとなりました。洲崎会長をはじめとするライオンズメンバー4名も参加し、実際にプログラムに触れて理解が深まったと思います。

【坂出LC新委員長あいさつ】
本年度より、坂出LCライオンズクエスト委員会の委員長を拝命いたしました。
青少年の生きる力に貢献しようとする本事業は素晴らしい活動だと思います。

しかし、クラブ内でも事業を理解できていないメンバーが多く、内外に対してのPRなど課題も多いのも事実だと感じております。

ライオンズクエスト・ライフスキルWSを一から立ち上げて、運営してこられた河津前委員長や先輩方の後任として、まだまだわからない点も多数ありますが、せっかくご尽力いただいた財産をきちんと受け継ぎながら、さらに本事業やライオンズクエスト活動が進化・進展するよう努力してまいりたいと思います。本事業に対してのご理解ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



小学校の先生多数参加

土佐LC青少年・LCI-F・地域

奉仕・ライオンズクエスト委員会

委員長 吉村 政男

土佐LCでは本年で3回目となるライオンズクエストWSを8月22日(木)・23日(金)の2日間開催しました。今回も以前と同様に初日の知り合う活動時の硬い表情から一変して終了時の和やかな表情を感じ、31名の集団づくりができたと思っています。土佐市内中学校3校、小学校9校合わせて児童生徒数1996名、教職員219名であります。が今回で99名が終了証書を受け取り、99名の集団づくりができました。

各地市町村教育委員会で独自の指定研究発表会、研修会が開催され、教職員が一緒に集い意見発表、討論等されていると思いますが、2日間昼食を共にして研修されることはまず無いでしょう。各学校とも自校での取り組みはどこでも行われているでしょうが、ライオンズクエストWSの普及が進めば各地教育委員会内全体で教職員が一体となつた児童生徒への支援が出来るのではないかでしょうか。開かれた学校、地域との連携が教育基本法に盛り込まれています。子供たちを地域で見守り育てることを目指し、土佐LCは今後もライオンズ・WSを始め青少年育成を主要ACTとして活動してまいります。



鳴門ワークショップ



「ライオンズクエストフォーラム全国大会in富山」に参加して

高知とさみずきライオンズクラブ 北 泰子

今年8月2日・3日の両日、富山国際会議場にて、「ライオンズクエストフォーラム全国大会in富山」が開催された。ライオンズクエストの普及推進に関心を持つライオンズメンバー及び教育関係者約300人が、全国から参集した。初の全国大会主催者である富山昭和ライオンズクラブの青少年育成にかける熱い思いが伝わってくる、すばらしい大会だった。

大会1日目は、開会式に続き、富山市立大泉中学校2年生43名、3年生33名、私立片山学園中等部の3クラスの公開授業「ライフスキル授業」が行われ、参観した。授業での生徒たちの積極的な活動が印象的だった。続く第2部では、柴咲子先生（ライオンズクエスト認定講師・教材開発委員、埼玉県立公立中学校勤務）による基調講演「今、そしてこれから」の「ライオンズクエスト」が行われた。「私の勤務していた川口市立芝東中学校（ライオンズクエスト発祥の学校）、川口市立北中学校は、いずれも生徒指導に苦慮していたが、ライオンズクエスト・プログラム導入3年後には、落ち着いた学校になった。導入校は他でも大きな効果を上げている。秩父市立秩父第一中学校など、特に問題を抱えない中学校の場合にはさらに効果が大きかった。子供たちの自尊心を育てるこのプログラムは、子供たちの長所を伸ばし、子供たちの活動を中心に行い、学習のねらいははずさない。ライオンズクエスト・プログラムはまさに『楽しく学ぶ心の教育』、『実践的な道徳教育』と言えるだろう。」ライフスキルの授業を続けて12年、認定講師3年目を迎える柴先生の講演は、実践者としての自信と実感がこもっていた。次の第3部のパネルディスカッションでは、寺本之人ライオンズクエスト認定講師をコーディネーターに、5人のパネリストが加わり、それぞれの立場で「思春期のライフスキル教育」をテーマに語った。私もパネリストの一人として、これまでの10年間の取り組みで感じたことを話させてもらった。終了後の懇親会も、参加者の情報交換の場として、有意義だった。

大会2日目は、第6部の分科会が行われた。学校関係者部会、ライフスキル教育部会、実践普及活動部会、ライオンズクエスト説明員部会の4部会に分かれ、それぞれ熱心な討論、研修が行われた。参加したライオンズクエスト説明員部会では、新たに翻訳され、教材が開発された「小学生版」についての研修を受けた。

最後の分科会報告後の閉会式で、石動勇大会委員長から、このライオンズクエストフォーラム全国大会が来年以降も続くことを切に希望するというメッセージが伝えられ、2日間の大会が終了した。全国から集まったライオンズメンバー、教育関係者は、日本の将来を担う青少年たちに、このプログラムを届ける必要性を再確認し、今後の普及につなげる大きなヒントと知識を得ることができた。



6年間ライオンズクエストワークショップを開催して

336-A地区ライオンズクエスト特別・運営委員 河津 學（坂出LC）

坂出LCは2008年9月に第1回公募型WSから、今年度9月の第6回公募型WSまで計6回開催。教員123名、LC会員16名、教育委員会・保護者5名の計144名の方々がプログラムを受講、修了されました。当クラブが特別委員会を設置し、毎年WSを開催することによりクラブの青少年健全育成事業として少しずつ成果をあげてきました。しかし、事業を継続している中、問題点もたくさん見えてきました。そこで今回は、これから事業を始めよう計画しているクラブ、また現在、取り組まれているクラブの皆様に6年間の体験を通じて現状を紹介し、今後の方向性を模索したいと思います。

先ず、WSの受講者の問題です。当クラブは市教育委員会に後援していただき出席申込みのない学校の校長先生に教員を派遣していただけるように依頼することで高い参加率が維持できています。ただ、参加者が自分の意思で申し込まれた教員が少なく、ほとんどが校長から受講するよう言われてしぶしぶ受講されたようです。

次に、学校現場（授業）でプログラムがあまり活用されていないことです。公募型受講者を対象にしたフォローアップWSの案内を80名の市内教員に出した結果、12名の参加しかなかった。この数字は、過去にプログラムを修了されながら、いかに学校現場で実施していないかを物語っています。受講者が子どもたちに実践してはじめて役立つことになるのですが、WSを開催しても無用の長物となってはいないでしょうか。また、当クラブが香川県内で3年間実施すれば、他クラブでもWSを開催するクラブが出現するであろうと思っていたのですが、一向に出現しないので、リジョンやゾーンの合同アクティビティでWSの開催を呼びかけましたが未だ返答なしの現状です。

このような問題点をふまえて今後、どのように事業を展開すればいいのでしょうか。先ず、合同アクティビティのためにアクションを起こす。たとえば、WS開催地を坂出市内とせずに他都市で開催して協力を仰げばどうなるでしょうか。開催した都市のクラブと合同開催の架け橋にもなるかもしれません。

また、過去の修了者との懇談会・フォローアップWS・WS体験会などを頻繁に開催してこのプログラムの本当の良さを理解してから受講してもらう必要があります。そして、教員ばかりでなくPTAや教育関係者にもっと受講していただき、学校の教員に側面からモーションをかけてもらおう。さらに、全国の大学の教員養成講座に教育実習同様に「思春期のライフスキル教育プログラム」等を必須講座として義務づけるような制度を文科省に要望して実現したいものです。

最後になりましたが、地区内のクラブがもっと、もっとクエスト事業に関心と理解をもっていただきたい。そして、このクエスト事業をライオンズクラブの青少年健全育成のための事業の「柱石」として育てていただけるように願ってやみません。

ライオンズクエストプログラムと出会って

徳島県鳴門市鳴門中学校校長 山西 典

自分を見失い自分の存在に肯定感を持てずに苦しんでいる生徒たちがいました。仲間を信じられず、日々荒れしていく生徒たちもいました。また、「自分の行動は間違っている。変えていきたい。」という思いはあっても具体的にどう行動し、どう考えたらいいのかが分からず苦しんでいる生徒もいました。

一般的な生徒指導の手法ではこの子どもたちの心を耕すことはできないと思っていた時、「ライオンズクエスト」と出会いました。人間が幸福な社会生活を営む上での大切な資質・能力に、知的側面、態度的側面、技能的側面があります。その三つを育てる具体的な教育の取組の一つとして「ライオンズクエスト」の中に可能性を見つけたのです。

全ての学級担任と一緒に二日間に及ぶ研修に参加し、このプログラムが建前だけでなく、実際の活動の中からしっかりと学習者にスキルを身につけることができるということを実感し、学校全体で取り組みを始めました。

以前は、教職員の生徒の一人一人を大切にする思いが生徒たちになかなか伝わりませんでした。こちらにその思いを伝えるだけの教師としての技量がなかったからとしか言えません。一年生に入学してからクラスとして学年として生活していく中で、気がついたら仲間としての人間関係が築けている…そんなことはあり得ないことに気づきました。



クラスの仲間の大切さを実感し、仲間とともに考え、より良い行動をしていくことの大切さ。

きずな
絆学習

平成24年10月より実施



そこで私たちは「絆学習」と名付けたライフスキル学習を展開するとともに、ホワイトボードミーティングやリフレーミングを取り入れた活動を授業の中で展開してきました。教室に入りにくい生徒も、このプログラムには参加して友達と話すことができ、その有効性を感じました。

生徒たちは、職員が力を合わせて研修し、それを日々の授業の中で生かしていることを実感してくれ始めています。個々の教師の技量ではなく鳴門中学校として同一歩調で授業改善に取り組む姿は、生徒たちにも力強い教師集団として受け取ってもらえたと思います。教師も自信を持って指導に当たり、生徒も自分たちの頑張りに自信を持ってくる。鳴中の自尊感情が少しずつ高くなるに従って、地域の方々からお褒めの言葉も頂くようになりました。生徒たちの学校生活は落ち着きつつあります。当然、思春期の中学生ですので多くの問題を抱えてはいますが、クラスの仲間の大切さを実感し、仲間とともに考え、より良い行動をしていく構えはできてきたと思っています。

これからも学校全体での取り組みを大切にしたいと考えています。





四国高松から発信するライオンズクラブ未来への展望



武久一郎国際理事



高田順一元国際理事



浜田恵造香川県知事



大西秀人高松市長



ライオンズフォーラムin高松

平成25年 9月15日(日) 会場/香川県高松市 高松シンボルタワー (JR高松駅前)
主催/LC国際協会336-A
参加者1275名

受付	12:00~13:00	高松シンボルタワー1階
開会式	13:30~14:10	高松シンボルタワー3階大ホール
記念講演	14:10~15:40	全上
女性フォーラム	16:00~18:00	高松シンボルタワー5階小ホール
クラブ支部フォーラム		全上 4階小ホール
LC IFセミナー		全上 3階大ホール
交流会	18:30~20:00	JRホテルクレメント高松3階

開会式	司会 地区キャビネット副幹事 三原主幹
開会宣言・開会ゴング	地区ガバナー 松前龍宗

国旗敬礼	地区キャビネット幹事 平賀将則
国歌斉唱	ライオンズフォーラムin高松実行委員長 山地章靖

ライオンズヒム斉唱:	香川県知事 浜田恵造
来賓紹介	高松市長 大西秀人

開会挨拶	国際理事 武久一郎
祝辞	元国際理事 高田順一

来賓挨拶	地区ガバナー 松前龍宗
------	-------------

閉会宣言・閉会ゴング	元内閣総理大臣夫人 橋本久美子
------------	-----------------

記念講演	(敬称略)
------	-------



LCIFセミナー

司会 青少年・LCIF・地域奉仕委員長 新谷 清二 参加者381名

開会挨拶 地区LCIFコーディネーター
336-A地区名誉顧問 三谷 智省
来賓挨拶 国際協会 国際理事 竹久 一郎
講演 LCIF資金開発オセアル課長 田辺 憲雄
推進者スピーチ 336-A地区高知南ライオンズクラブ 溝渕 義雄

ライオンズ・ローア 336-D地区ガバナー 坂根 勝
閉会挨拶 336-A地区名誉顧問会議長 長谷川 憲男



三谷智省LCIF地区コーディネーター(元地区ガバナー)



クラブ支部フォーラム



田辺憲雄LCIF資金開発オセアル課長

クラブ支部フォーラム

司会 GLT・会則・プロトコール委員長 正木 一志 参加者306名

開会挨拶 地区GLTコーディネーター 松岡 豊
来賓挨拶 複合地区ガバナー協議会議長 渡部 雅文
スピーカー 330-B地区ガバナー 川手 虎平
336-B地区元ガバナー 森岡 秀行
336-B地区津山鶴山LC前ZC 杉本 憲治
平成支部会長 中里 信之
336-A地区高松西LCスマイル支部会長 平賀 美和
336-A地区徳島すだちLC会長 大川 一則

ライオンズ・ローア 336-C地区ガバナー 池田 康彦
閉会挨拶 336-A地区副地区ガバナー 橋本 充好



山田守雄地区GMTコーディネーター

※お陰さまで皆様の積極的な発言で、充実した内容の濃いフォーラムになりました。詳しくは、次号に掲載させて頂きます。

第3回女性フォーラム

司会 高松中央LC 石原 由緒子 参加者379名

国旗・来賓入場
国旗敬礼
出席者紹介 女性フォーラム副委員長 多田 登美子
開会挨拶 女性フォーラム委員長 山田 守雄
来賓挨拶 国際協会元国際理事 高田 順一
女性会員開発エリア・リーダー 河合 悅子

(パネルディスカッション)
ファシリテーター 地区GMTコーディネーター 山田 守雄
パネリスト 松山つばきLC会長 渡部 京子
松山南LC会長 松岡 久美
東温LC会長 宮本 婦美子
高松LC会長 池内 一恵
高松東LC会長 二見 尚子
高松中央LC会長 中平 博美
高松北LC会長 真鍋 秀子
高知桜LC会長 白山 早苗
高知とさみずLC会長 斎藤 明子
高知よさこいLC会長 小松 和子
高知中央LC会長 楠瀬 須美江
土佐山田LC会長 植田 鈴子
鳴門LC会長 岡田 理絵
徳島藍LC会長 山畠 まゆみ

ライオンズ・ローア 336-B地区ガバナー 井上 亮二
閉会挨拶 336-A地区副地区ガバナー 木内 千春



女性フォーラム

幹事心得帖

『以和為貴、 無忤為宗』

幹事 鏡原 納男(高松玉藻)

「和を以(も)って貴(とうと)しとなし、忤(さから)うこと無きを宗(むね)とせよ。」とは、聖徳太子の「十七条の憲法」の第一条の冒頭に出てくる言葉です。

この言葉を知っている多くの方が抱いているイメージとはどうでしょうか。私自身、以前は「自由勝手な意見を言わず、長いものには巻かれろ、調和を乱さない」のような意味かと思っていました。

しかし、第1条全体の主旨は、「人は派閥などを作りやすく、そうなると偏った頑な見方にこだわり、他と対立を深める。それより、互いに和らぎ話し合いをし得た同意は道理にかなう。」だそうである。

最後の第17条に以下のようにある。「多くの人々と共に論じ、是非を検討してゆくならば、その結論は道理にかなうものになろう」

また、同憲法の第10条に「ほかの人が自分と違う意見でも怒ってはいけない。人それぞれに考えがあり、それぞれに自分が思うことがある。自分はかならず聖人で、相手がかならず愚かだというわけではない。皆ともに凡人なのだ。」とあり、特に最後の文章が好きなので、原文で表記します。

『我必非聖、彼必非愚、共是凡夫耳。』（われ必ず聖なるにあらず、彼必ず愚なるにあらず、共にこれ凡夫（ほんぶ）のみ。）

以上より、「完璧でない凡人の我々が、公共の利益を実現するには、こだわりを捨てた公正な議論は欠かせない。そのためには各自が私心を去るべきである。」と言うことではないだろうか。

約1,400年前に制定された17条の憲法ですが、今年幹事を拝命した現在の気持ちと相通じるものがあり、相手の気持ちを尊重し活発な意見交換し、より良いクラブの運営を心掛たいと思い、ここに引用させていただきました。ご協力よろしくお願ひします。（高松玉藻LCL会報誌より）



たちの心に響きました。これからたちの進むべき道を明示してくれて、いるように思いました。部活や勉強友人関係などで上手くいかず、その場で立ち止まってしまう、私にもそういう経験はたくさんあります。つらくて前へ進めない時があります。でもこの言葉を聞いて、「自分のペースで進もう」「一歩じやなくとも半歩でも進めればいいんだ」、そんな考えを持つことができました。だからもし私の周りで前に進めず、立

ち止まつてしまつて、いる子がいたら
この言葉をかけて、その子に寄り添
つてあげようと思ひます。

今回の大島青松園への訪問は、私
にとって、たくさんの大切なことを
気づかせてくれ、学ばさせてくれた、
とても良い機会となりました。今
社会には差別が根強く残っています
今までには差別というものが「自分
心の底にある」ということをわかつ
ていませんでした。みんなも大人た
ちも、心の底に差別というものがあ

るということを、わかつていいない人が多いと思います。そういうことではまだ社会に差別が根強く残つていくばかりです。だからまずは、自分の心と素直に向き合い、人と関わる時は、知らないうちに人の心を傷つける「ナイフ」ではなく、人の心を少しでもなごませる「日だまり」のような存在になりたいです。社会に残るいや、新しく芽を出す差別や偏見に気づき、正しい行動がとれる大人になります。

私が大島青松園に行つていなかつたら、こんな考えを持つことはできませんでした。だから大島青松園、そして入所されている方々と出会えたことに、とても感謝しています。青く美しい瀬戸内海を背に、いつまでも手を振つて見送つてくれた方々の笑顔と私の今日の決意を忘れることはありません。



クラブ会報誌より



JR-3E神山ライオンズクラブが、地域社会のニーズを十分見極めて、行政当局や学校、福祉施設などの地元の人達と一緒に町の発展に協同推進されていることに敬意を表します。

神山ライオンズクラブ会報誌94号から「学園通信・私の心の中から」を抜粋・掲載させて頂きました。

がたくさん残っています。
その中には私の心の中の差別や偏見
もあるのでしょうか。でも、私の心の
過ちも、ましてや社会にある差別・
偏見なんて深く考えたことなどあり
ませんでした。この日を迎えるまで
は：

市の大島青松園へ行きました。まつ青な海に浮かぶひょうたん形の島にはたくさん自然と、その島に住む人々の温かい心がありました。「のどかでいい所。」大島青松園に着いた時の印象でした。大島青松園では四人の元ハンセン病患者の方との交流会がありました。お話をされるまで四人の方々はみなさんにこしていて、明るい雰囲気が部屋の中に漂っていました。しかし、お話が始まつた時、部屋の雰囲気はガラリと変わりました。ハンセン病に向けられた差別は、私が予想していたよりもはるかにつらく、苦しいものだったのです。遺伝病と思われ、本人だけではなく、家族をも差別され、友達や周りの人すべてが離れていくつてしまつたのです。しかも名前も名乗れず変えられてしまうなんて…。私はこれまで、自分の名前が好きではありません。

交流会で九十七歳の方が
しくなりました。
問題となつてゐる「いじめ」
く気にかけていてください
確かに今、メディアでよく
題が取り上げられています
そしていじめが原因で自殺
をしてしまつた子もたくさん
います。いじめも、いじ
められている子に対する差
別です。いじめられる子の
ことをわからうとしないで
勝手な理由をつけて、いじ
めてしまつています。私も
周りの空氣に流れたり、
自分の勝手な理由で人を避
けてしまつたりすることが
ありました。お話を聞きな
がら、ある友達の顔が思い
浮かびました。今まで自分
が人を傷つけているという
ことを、わかつていません
でした。でも、元ハンセン
病患者の方のお話を聞いて
自分も差別をしてしまつて
いる側ではないのか、差別
は人を苦しめ、心に深い深
い傷を負わせてしまうナイ
フなのではないかなど、い

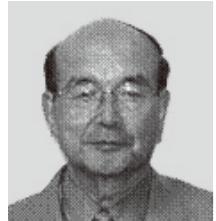


私の心の中から

何か地味だし、「嫌だな。」と思つてしました。でも今回このお話を聞いて、自分の名前が名乗れるという幸運を実感し、名前が嫌いなどとい

出口の見えない迷路にいるような気持
持ちになりました。

最後に、その方がこう言つてくれさいました。「つらい時はそこで立ち止まらず、一步でも半歩でも進んでいいってほしい。」と。この言葉は、その方が過去からずっと自分に言い聞かせていた言葉なのではないか、と思ひました。厳しい差別を乗り越えを強く生きている方のこの言葉は、私



①田所 潔(91歳)
②6R-2Z土佐
③1965年11月19日
④2013年6月6日



①吉岡 正行(78歳)
②7R-3Z南国
③2000年11月16日
④2013年6月6日



①吉田 覚(85歳)
②9R-1Z藍住
③1981年7月21日
④2013年6月7日



①小野 耕一(80歳)
②4R-4Z高松屋島
③1966年3月
④2013年6月10日



①坂本 晃也(75歳)
②2R-1Z新居浜別子
③1989年2月18日
④2013年6月11日



①立岡 光觀(86歳)
②5R-1Z丸亀
③1975年4月
④2013年6月20日



①川人 勝一(84歳)
②9R-3Z阿波
③1971年11月28日
④2013年6月24日



①上野 勇(71歳)
②4R-4Z高松栗林
③2006年2月21日
④2013年7月14日



①古山 博(88歳)
②8R-1Z阿波勝浦
③1977年10月30日
④2013年7月22日



①須山 隆大(67歳)
②1R-2Z松山北
③1984年10月24日
④2013年7月29日



①溝淵 宏(79歳)
②7R-1Z高知鷹城
③1980年10月
④2013年8月17日



①佐藤 敬一郎(94歳)
②4R-3Z長尾
③1964年4月17日
④2013年9月2日

物故会員

①氏名・享年
②LC名
③入会年月日
④没年月日

(2013年6月1日)
(より9月30日まで)

編集後記

天高く馬肥ゆる秋です。実りの秋です。

紅葉の秋です。そしてクラブ活性化の秋

でもあります。

ガバナー公式訪問では松前ガバナーの提起したドリームプランに多くの意見が寄せられた。大方の趣意は・クラブによってそれぞれ事情が異なる。・クラブは独立したもので会員の総意なしで強制はできない。・会員増強に走る余り、ライオンズ本来の誇りが失われないか。等々、尤もなご意見があつた。

勿論市内クラブと山間僻地のクラブのよくな地域事情や、会員数の多寡など、クラブが抱える状況が全て同じでないことはガバナーもご承知です。

しかし会員の減少などクラブの将来を見るとき、改革の推進は全クラブに共通する喫緊の問題であり、そのことを踏まえて我がクラブに相応しいプランを向向きに考えて下さい。ということが真意であることをご理解願います。

宇高原ガバナーから頂いた特別寄稿は、郷土が生んだ先人に対する尊崇の念と、郷土を愛する心情が文中に溢れ、これぞライオンズの鑑と感銘しました。また春木ケエスト特別委員長の教育関係の方々を始め、委員の皆様のセミナー報告は、徳島高知の活動課程が具体的に記述され、良い指針となりました。委員会の皆様の意気込みと熱意に敬意を表します。それでも河津委員(坂出LC)のご苦労お察し致します。キヤビネットのある4Rも見習いたいもの…。

2号誌編集に当たり、折角ご投稿下さったのに紙数の都合で苦渋の選択の末、掲載出来なかつたものもあり、申し訳なく深くお詫びを申し上げます。

地区誌編集委員会○・△・生



2013~2014年度 ライオンズクラブ国際協会336-A地区 高松キャビネット事務局

〒760-0301
香川県高松市林町2032-2 源内ビル2F
TEL 087-814-3130 FAX 087-814-3132
Eメール:lc336a-takamatsu@ieas.ocn.ne.jp

第84巻No.2号／企画編集／地区誌編集委員会／印刷:タナカ印刷株式会社

336-A地区会員現況

(入退会は累計・2013年9月30日現在)

R	Z	クラブ名	期首	新人	退会	9月末
1	1	松山ホスト	36	2	1	37
		久万	27	1	0	28
		松山東	47	4	0	51
		砥部	38	0	0	38
		松山つばさ	44	0	1	43
		松山城山	42	0	0	41
		ゾーン合計	234	7	2	238
		松山道後	54	1	0	55
		伊予	50	2	2	50
		松山西	42	2	0	44
2	2	松前	20	1	0	21
		松山北	27	7	0	33
		松山湯築	32	3	1	34
		松山城東	21	2	0	23
		ゾーン合計	246	18	3	260
		北条	19	0	0	19
		松山中央	110	3	2	111
		松山南	33	2	1	34
		東温	22	1	1	22
		松山金龜	41	0	0	42
3	3	松山白鷺	61	0	0	61
		ゾーン合計	286	6	4	289
		リジョン合計	766	31	9	787
		新居浜	53	0	1	52
		新居浜中央	29	1	0	30
		新居浜別子	30	1	0	31
		新居浜ひうち	26	0	0	26
		ゾーン合計	138	2	1	139
		今治	55	1	0	56
		今治中央	55	0	0	55
4	4	今治東	55	1	1	55
		今治くしま	52	0	0	54
		今治サーチャー	0	0	0	0
		ゾーン合計	217	2	1	220
		伊予三島	39	1	1	39
		川之江	44	2	0	46
		伊予土居	36	0	0	36
		四国中央法皇	39	0	0	39
		川之江中央	27	1	1	27
		ゾーン合計	185	4	2	187
5	5	西条	50	4	0	54
		東予	38	0	2	36
		伊予松小	12	0	0	12
		西条石鎚	41	0	1	40
		ゾーン合計	141	4	3	142
		リジョン合計	681	12	7	688
		大洲	47	0	0	47
		宇和	38	1	2	37
		伊予長浜	14	0	0	14
		内子	31	1	1	31
6	6	野村	22	0	0	22
		ゾーン合計	152	2	3	151
		八幡浜	43	0	0	43
		三瓶	16	0	1	15
		伊方	37	1	1	37
		保内	26	2	2	26
		八幡浜みどり	42	0	1	41
		ゾーン合計	164	3	5	162
		宇和島	26	1	0	27
		伊予吉田	30	3	1	32
7	7	宇和島中央	17	1	2	16
		南宇和	39	2	1	40
		鬼北	30	0	1	29
		ゾーン合計	142	7	5	144
		リジョン合計	458	12	13	457
		高松	39	2	2	39
		小豆島	41	0	1	40
		小豆島東	31	0	0	31
		高松葵	31	0	1	30
		高松南	28	2	0	30
8	8	ゾーン合計	170	4	4	170
		高松東	51	5	2	55
		高松西	39	0	1	38
		直島	27	2	1	28
		八栗	29	2	0	31
		高松源平	32	0	1	31
		高松中央	29	2	3	28
		ゾーン合計	207	11	8	211